

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 西区自治協議会

区分	内容												
テーマ・事業名	西区特産品・観光地カレンダー 【事業費予算 1,200千円】												
事業目的・概要	区特産物の消費や交流人口の拡大を図るため、西区の特産物・観光地などの写真等を用いたカレンダーを作成し、主に西区民向けに市内施設やイベントにて配布する。												
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○カレンダーの規格:A3・二つ折り・中綴じ (A4・28ページ・月めくりタイプ)</p> <p>○カレンダーの構成等 各月ごとに、西区の写真と区観光地・特産物にちなんだキャラクターを組み合わせ、西区の魅力を紹介。 巻末ページには、西区ガイドマップを掲載。</p> <p>○カレンダー用にキャラクターを制作 ・制作:新潟大学教育学部の協力により学生から12体のキャラクターを作成してもらう。 ・制作数:計12体(新規キャラクター 10体、既存キャラクターのアレンジ 2体)</p> <p>○作成部数:10,000部 【配布等内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>市民配布(公共施設等での配布)</td> <td>6,800部(うちアートフェスティバルでの配布分 900部)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機関・福祉施設等掲示</td> <td>1,103部</td> <td>各種学校配布・掲示</td> <td>1,590部</td> </tr> <tr> <td>自治会・コミ協</td> <td>372部</td> <td>公共施設掲示等</td> <td>135部</td> </tr> </table>	市民配布(公共施設等での配布)	6,800部(うちアートフェスティバルでの配布分 900部)			医療機関・福祉施設等掲示	1,103部	各種学校配布・掲示	1,590部	自治会・コミ協	372部	公共施設掲示等	135部
市民配布(公共施設等での配布)	6,800部(うちアートフェスティバルでの配布分 900部)												
医療機関・福祉施設等掲示	1,103部	各種学校配布・掲示	1,590部										
自治会・コミ協	372部	公共施設掲示等	135部										
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、歴史や産業などが異なる地域(坂井輪地区・西地区・黒埼地区)で構成されており、魅力豊かな区であるが、特産物の消費や交流人口のより一層の拡大を図るにはPRが十分であるとは言えない。現在、区をPRする媒体として、西区ガイドマップがあるが、より効果的にPRするためには、区の魅力を発信する新たな媒体が必要である。 新たな媒体は、日常的に目に触れる機会が多いカレンダー一体型とし、制作にあたっては、できるだけ住民や大学生が参画できる機会を設け、区民の一体感の醸成を図る。</p> <p>【アンケート結果】 ◆調査方法:市民配布場所にアンケート用紙を設置 ◆有効回答:1,215名(有効回答率17.8%) ①カレンダーはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]・・・89.1% ②キャラクターはいかがですか[とても良い・まあまあ良い]・・・82.3% ③掲載情報は役に立つか[とても役に立つ・まあまあ役に立つ]・・・90.8% ④カレンダーのサイズはいかがですか[ちょうどよい]・・・79.0% ⑤自由記載欄の主なコメント ・特産品や観光地など西区の魅力を新発見・再発見できて良い。 ・写真やキャラクターを用いていて好印象。 ・来年度も制作してほしい。</p> <p>【評価】 広く区内・区民に配布できたこと、また、委員が直接聞く市民からの声やアンケート結果からも、企画・内容が高評価であったことから、高い公益性と実効性を伴う事業であった。この事業が、今後、区特産物の消費や交流人口の拡大に寄与することを大いに期待したい。</p> <p>【今後の課題】 ・写真などの素材収集や編集には、十分な期間を確保した方がよい。 ・区外にもPRするのであれば、掲載情報など西区のことを知らない人でもわかるような工夫が必要である。 ・配布先、掲示場所にもう一工夫が必要できるように検討する。</p> <p>【今後の取組】 ・ターゲットを区民向けを中心としながらも、西区の広報媒体として活用できる内容として次年度も新たなカレンダーを制作する。 ・次年度の制作の際には、市民参画の機会の拡大に努める。(写真の公募など)</p>												
備考													